

英語

100点UPのテクニック



これがプロの得点力アップテクニック！



大問3 はちょっと長めの会話文。
会話文を理解するうえで重要なことは3つあるよ。



③ 次の対話の文章を読んで、あとの各問に答えよ。

Mr. Matsuo is an English teacher at a junior high school. Ms. Baker is an American teacher who teaches English with him. They have just started their English class.

Mr. Matsuo : Ryohei, can you say "shibashiba tsukau" in other word in Japanese?
Ryohei : Well,... "tamani tsukau."
Mr. Matsuo : Does everyone agree?
Maki : Mr. Matsuo, I think "shibashiba tsukau" means "yoku tsukau."
Mr. Matsuo : That's right, Maki.
Ryohei : Oh, really? (3) I didn't know that.

Ms. Baker : I usually teach you English. But today, I want you to teach me Japanese.
Ryohei : (1) That sounds is interesting.
Ms. Baker : OK. I'll ask you the first question, Ryohei. What does "shibashiba" mean?
For example, "shibashiba tsukau".



もっとたくさん見たい方は



1 状況把握

会話文というのは、ある状況での会話。だから、どんな状況の会話なのかを把握しておかないと何を言っているのかつかみづらいわけ。逆に状況さえわかれば、それだけでいろんなことがわかる場合もあるよね。この問題の場合、書いてある場所はイントロの英語の部分。県によっては日本語で書いてある場合もあるよ！

●ここをしっかりと読んで、状況をしっかりと把握するんだ！

→今回の状況は「Matsuo 先生と Baker 先生の英語の授業でのこと」だね。

2 登場人物とその関係

会話文では登場人物とその関係をしっかりと押さえよう。これを押さえておけば多少わからない部分があってもその関係から想像がつくこともあるんだ。だから誰の発言なのかしっかりと確認！



3 会話の鉄則

3つ目は、とても当たり前のことすぎてかえってみんなあまり意識していないこと。それは、「会話文というのは、相手の発言を受けて進んでいくもの。」ということだ。「相手の発言を受けて」というのはこういうイメージだ。当たり前だね！だって、一人で勝手にどんどん話をしていくやつっておかしいでしょ^^; 苦笑
つまり、ここから何が言えるのかと言うと、基本的に会話文ではこうして下線が引かれ問題になってたら、前の文・前の人の発言にさかのぼっていくことで答えが見つかるってこと。

多くの場合、問題になるのは指示語で、その指示語を明らかにするのが求められるんだよ。

■ 最初の問題は下線部を書き換える問題だ。いきなり教えちゃうよ！

書き換え問題を解くコツは、ズバリ「照らし合わせる」このテクニックで簡単に解けてしまうんだ。では実際にやって見せよう！

■ 設問になっている下線部と、書き換えたい文を「照らし合わせる」と、

GOOD!

That sounds is interesting.

それは / 聞こえる / 興味深く

I am interested in

私は / 興味がある / に



するとどう？考えるべきは、指示語「That」の内容ということだすぐにわかるでしょ！つまり、「That」は「何」を指していますか？っていう指示語の問題ってわけ。ほらっ指示語！指示語の問題の解き方は、その文がヒット→前文・前の発言に答えだっだね。

↓だから前文の Baker 先生の発言 (1) で
「interesting = 興味深い、おもしろい」内容を探すと、

But today, I want you to teach me Japanese.

「だけど今日は、私が / 望む / あなたに / 教えることを / 私に / 日本語を」

つまり、「That」の内容は「Baker 先生に日本語を教えること」「Baker 先生が、生徒に日本語を教わる」なんてとても「interesting (= 興味深い)」よね！

■ ということで、「Baker 先生が、生徒に日本語を教わる」という趣旨の選択肢を探すと、
"teaching Ms. Baker Japanese" 「教える / Baker 先生に / 日本語を」→「ア」だね。
やっぱり、文章全体を理解しないと解けないなんてことはなかったね！
設問文を除けば、たった1文で解けました^^♪